

運転免許とって 第24回 夢見るカーライフ



取材・写真／横山聡史 (Lucky Wagon)

ソーシャルワーカーを目指し、学業・部活に勤しむ



旭川市出身、札幌の大学に通う屋根田樹里さん。心理カウンセリングを学んでおり、将来は市役所に所属するソーシャルワーカーを目指している。「札幌が旭川、あるいは帯広での就職を考えているので、通勤には間違いなくクルマが必要になると思います。それに備え、今このタイミングで自動車学校に通っています」という。在学中にマイカーを持つ予定はないものの「硬式テニス部に属しているので、年2回合宿で長距離を走ります。レンタカーを借りてみるまで移動できれば良いと思っています」。合宿地は深川や砂川など道北方面が多いそうだ。

ご家族でのクルマの用途を伺うと「両親と弟が旭川にいて、祖母が札幌にいます。幼い頃は家族で祖母の元へ帰省し、祖母も連れ立ってルスツへ行くというのが定番でした」。なかなかの大移動である。そんな記憶がクルマ好きにさせたのかと問うと「例えばカラフルで可愛いボディカラーには惹かれますが、実はクルマ自体に強い関心があるわけではないんです。基本的にインドア派ですので(笑)。ただ好きな時間に好きな場所へ行けるのがクルマの最大の魅力だと思っています」。なるほど、道具としての割り切りが潔い。「父の運転がとてもうまく

将来の通勤がメインながら、長距離ドライブも楽しみたい



札幌の大学に通う川村実里さん。幼少期は阿寒町に住んでいたこともあるが、現在ご実家は函館とのこと。両親と弟さんは運転免許を所持し

て、ドライブに連れて行ってもらった際にはよく車内で寝ていました。車内でゆったり眠るのはとても気持ちが良いんですよ。逆に母は運転が苦手で、特に冬期間は毎年レッカーを呼んだりして大変でした。運転って大変なんだなあと子ども心に思っていました。後々いろいろな方々のお話を聞くと、頻りにレッカーのお世話になるのは珍しいと気づきました(笑)。私は安全運転に徹しようと思っています。

ドライブにも積極的に出かけようとは思わないタイプですが、こちらの質問に丁寧に答えてくれる様子から消極的な印象はない。テニス部での活動と、トレーニングの一環として始めたランニングが趣味というから、むしろアクティブな方だと思ふ。「友達のいる小樽へは行ってみたいと思っています。あとは函館も良いですね」。今後ご両親が札幌へ来られ、家族でルスツへ向かう際には是非、ドライバー交代をかって出たい。ただきたい。娘の運転でドライブできる。ご両親も祖母様も間違いなく心から喜ばれることだろう。

札幌市在住 20歳 屋根田 樹里(やねたじゅり)さん

学業と格闘技、スキーで充実した毎日



札幌の大学に通う川村実里さん。幼少期は阿寒町に住んでいたこともあるが、現在ご実家は函館とのこと。両親と弟さんは運転免許を所持し

札幌市在住 20歳 川村実里(かわむらみさと)さん



マ通勤になると、思いますので、その頃には入手できれば良いなと思っと思っています。実は弟が親からマイカーを買ってもらったので、次は私の番！と淡い夢を抱いています(笑)。

ており「なにかと便利だよ」とご両親に勧められて北海道中央自動車学校に通っている。「昔から両親がドライブに連れて行ってくれましたし、現在は知人とクルマで出かけることも多いです」。ご両親は2か月に1回程度札幌へ来られているそうで「長距離運転で疲れていると思うので、私が運転して札幌を案内できれば良いなと思っています」と、ご家族思いの一面をのぞかせる。

ハキハキとした語り口が印象的な川村さん。聞けば小学校時代から空手道場に通っていたそう。「フルコンタクト空手(実際に打撃や蹴りを相手に当てる)です。現在は北海道大学のインカレサークルでテコンドーに挑戦しています」というから、そうした武道に鍛えられたのだろう。また阿寒町に住んでいた頃からスキーも得意。それゆえ将来乗りたいクルマは「VOXYのようなワンボックスタイプが好きです。たくさん荷物を運べるのが良いですね」という。在学中にマイカーを取得する可能性は低いですが、函館での就職を希望しているため「クルマ

クルマに関するエピソードを伺うと「函館に移ってから、家族でよく昆虫採りに行きましたね。大沼周辺でクワガタを捕まえました。クワガタってそんなに簡単に見つかるのか尋ねると「父が運転中に、飛んでいるクワガタを見つけたんです。着地した瞬間を狙うんです」と驚きの答え。動体視力がすごすぎる。「阿寒に住んでいた頃には阿寒湖にもよく行きましたね。幼稚園から小学校低学年の頃ですが、雄大な自然の光景に目を奪われた記憶があります。今でもドライブに行くなら自然の中が良いですね」。クルマの魅力を知りながら自然の中へ立ち入ることのできない自然や、道の駅などに自由に立ち寄ることができるということですね。荷物を運搬できるというのも嬉しい点です」。

アクティブな川村さん。マイカーを手に入れた後は、さらに行動範囲が拡大しそうだ。残された札幌生活と、函館に戻ってからの社会人生活、ぜひ楽しんでいただきたい。

職員からひと言



北海道中央自動車学校
教習指導員
加藤 弘道さん
(かとうひろみち)

安全で上手な運転を習得していただくため、分かりやすく丁寧な指導を心がけています。自動車に詳しくない学生さんも多いので、良い点は褒め、うまくできない点は粘り強く指導することが大事だと考えています。以前、なかなか上達せず苦労して卒業された方が見事に運転免許を取得され、笑顔で挨拶に来られたことがありますが、非常に嬉しかったですね。私自身ドライブが趣味であちこち出かけますが、交通ルール・マナーを守らないドライバーが目につきます。ご自身が初めて運転免許を取得したときの初心、そして免許更新時の講習内容などをしっかりと胸に刻んでいただき、無事故無違反の安全運転をどうぞお願いいたします。

北海道中央自動車学校

札幌市東区北25条東1丁目1-17 TEL 011-711-3344
代表：工藤博樹 学校長：佐藤隆幸



充実した施設とカリキュラム、そして夜10時までのロングラン教習が在校生に好評。地下鉄南北線「北24条駅」から徒歩8分にある。学割コースのほか、各種安心プランを充実。AT教習車にはトヨタ教習車を採用していることも特徴のひとつ。教習・検定ともに土・日・祝日も実施。各検定試験の合格率は常にトップクラスを誇る。